

今号のわだい

- 【1面】 埼玉・2病院譲渡問題(続報)
- 【2面】 西日本・三北ブロック春闘集会
- 【3面】 自転車共済始まる  
秋田ウィンターフェスタ

# 全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会  
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷  
0013 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月20日 定価 30円  
http://www.zenkouro.org/

## 地域医療と雇用・労働条件を守れ!

### 埼玉県厚生連、熊谷・久喜総合病院の仲間へ支援を



垂れ幕も掲げての熊谷総合病院の早朝ピラ



久喜での朝ピラ。各地からの幟布も張りだしました

#### 「医療機能維持」には全員雇用労働条件の現行水準維持が必要

埼玉県厚生連2病院(熊谷・久喜)の譲渡問題(1月号で一部既報)は、埼玉労対策会議(埼玉労、全厚労、県医労連、埼玉連、日本医労連)のもとで、厚生連との団体交渉を1月27日から、2月17日まで4回、職場集会もその度に開催してきました。

1月27日の第1回団交で、厚生連は、譲渡に関して、労働者が納得できるだけの理由も合理性も示さず「納得して欲しい」とするばかりで、「労組との十分な協議を尽くす」という当たり前のことにも明言を避けました。しかも現場の実態と経営側の認識に大きな違いがあり、厚生連は1月14日の職員説明会で「職員は十分理解してもらい、譲渡されることにも納得している」と発言するほどでした。

団交は休憩を挟んで「①労組との誠実な協議を行う、②譲渡を決定するに至る経過や理由、及び譲渡基本契約の中の雇用・労働条件部分について、文書による提示を次回団交時に行う」などの3点について、合意して終了しました。

労組は職員に翌日の朝ピラで団交内容を伝え、夕方には支部集会を開いて組合員の意見や要望を集約。「職員がないがしろにされて、譲渡ありきで進められよう

としている」、「譲渡されることでの賃金・労働条件の低下の可能性が心配」等、不安や心配、経営者に対する怒りや失望の声が溢れました。心配のあまり、ハローワークに失業手当の相談が相次ぎ、病院に「相談を控えるように」申し入れがあったほどです。

さらに労組では、「わたしの一言」に取り組み、短期間に組合員の6割を超える方から、様々な怒りや不満、意見や要求などを集めました。それらはまとめて報告集として配布するとともに、厚生連にも「私たちの声」として提示しました。

2月1日の第2回団交では、労組は「医療機能の維持」のため、厚生連が責任を持って「現行の職員体制・賃金・労働条件」を承継させるよう交渉。交渉の末、「会は承継予定法人と(全員雇用・労働条件維持に向けて)協議を行う」と労使合意したものの文書確認は、かたくなに拒み続ける姿勢を続け、団体交渉は深夜過ぎまで続きました。

このような状況の中で、内部の労使関係だけでは問題解決は厳しいと、住民のみなさんや行政、議会などの関係者にも、実情を知っていただき、地域からの声

で「医療機能の維持」を実現することが大切だと考え、交渉と同時並行で対応も図っています。

その間、久喜総合病院では、譲渡予定先が、一方的に「個別面談」で給与水準の提示や確認を求める行動を起こしており、労組はその都度、抗議や申し入れで問題点を指摘してきました。

現場では「賃金水準だけ明らかにしても、どういう計算なのか、労働時間・休日などの労働条件も明らかでないままでは、判断しよえない」という声が出さ

れています。

2月10日、17日の団交では、選別なしの全員雇用と労働条件の維持を求めつつ、厚生連の責任として、有休消化や買取り、退職金や職員預り金の確保など、組合員の切実な要求に沿った交渉を行って、一部(退職金と職員預り金)では「確認書」も交わしました。

間近にせまった譲渡の中で、職員の生活と権利を守り、地域医療に責任を果たせるのかどうか、たたかいは続いています。引き続き全国の支援をお願いします。

## 安倍政権にNO!に一万人 野党5党の共闘も始まる

2月14日バレンタインデーの日、東京渋谷・原宿の中心街で「安倍政権NO!」を求める人々が大行進を行いました。デモの飛び入り参加もあり、参加者は1万人(主催者発表)。5野党(民主・維新・共産・社民・生活)の代表も参加し、スピーチしました。



若い人たちが続々と立ち上がっています

「野党は共闘」の声はさらに大きくなり、19日には5党共同による「戦争法廃止法案」の提出と、国政選挙での協力が合意されました。「T-ns SOWL」など夏に選挙権を得る高校生や、各世代・各階層での共同も広がっています。

# 労働組合の役割しつかり学ぶ

## 西日本ブロック春闘集会

2月6〜7日、高知県高知市・三翠園にて、全厚労西日本ブロック春闘集会が、開催されました。集会には、全厚労未加盟の鹿児島県厚生連の仲間2名も参加し、総計7県から80名が集まりました。



寺間誠治さん

集会では、労働者教育協会常任理事で全労連元総合労働局長の寺間誠治さんから「労働組合って何だ？」と題して講演を頂きました。



初めて聞く話も多かった講演にも納得

寺間さんは、「プロ野球選手会」が労働組合として認定され、選手生命も短く社会保障も不十分な選手との地位向上を目的に運動する点とともに、全国各地での野球教室やチャリティ活動など公益的な活動に取り組んでいることを紹介。2004年に起きたプロ野球選手会とのストライキ問題では、全労連が選手会からの要請を受けて、定期大会で全面支援を確認して、ともに闘ったことが語られ、今の労働組合活動で、労働三権（団結権、団体交渉権、団体行動権）がしっかりと活かされているか、と問いかけられました。

## 春闘勝利に向けて意見交流



### 三北ブロック春闘討論集会

三北ブロック代表があつまりました

2月10日、新潟県新発田市にて、三北ブロック春闘討論集会が28名の参加で開催されました。冒頭、折笠由美子副執行委員長が「年明けに、埼玉

県厚生連の久喜総合病院と熊谷総合病院の2病院が民間譲渡される話が出た。全厚労として埼玉労をしっかりと支援していかなければならない」、「協同組合は誰かが利益を得るものではない。地域医療を守る協同組合の厚生連は重要だ」とあいさつしました。

最初に新潟から、「第2組合設立後の脱退勧奨・支部長の不当配転に不当労働行為救済申立を実施した。人件費を毎年1億2千万円減額し続ける給与表・給料体系見直し提案を受けたが、粘り強い交渉の結果、今年4月からの強制導入は行わないことを確認。今後、撤回を求めて春闘で交渉する。病院縮小・廃止問題では地

域と一体となり働き掛け、栃尾診療所として存続となった」との取り組みが報告されました。また新潟では、農林年金の特例業務負担金の一括納入を理由に賞与手当を年4回から3回とする提案がありました。新潟では農林年金が議題となったのは初めてであり、他道県連での農林年金問題がどうなるか注視が必要です。

今後の事業計画では、北海道で帯広厚生病院の移転新築、富山は平成30年に固定比率100%到達、新潟では「慢性的赤字病院は根本的に見直す」と明記された、と報告がありました。地域医療構想では、秋田から県主導で県南の2つの二次医療圏の統合議論が進

一方、NHKが行う5年毎の世論調査で、労働組合に対する青年らのイメージが就職前と就職後で、「職場を良くするために大切」が「いろんな人とのつながりができる」が大幅に増え、逆に「雑務が多く大変そう」とのマイナスイメージがあることを紹介し、こういう点を克服していけば労働組合の可能性は大きく広がると話されました。最後に地域住民あつての医療で

あつて、地域住民や地域の労働組合とも連携して、福祉や社会保障制度の充実を図っていくことが大事だと訴えられました。特別報告では、鹿児島から、労働時間をチェックする「オレンジカード」と、不払い労働をチェックする「イエローカード」の取り組みが紹介されました。翌日は9つのグループに分かれて自由なテーマで討論しました。参加者アンケートからは、「労働組合の役割やストライキの重要性が良く分かった」、「他県の取り組みで参考になるものがあつた」などの感想が寄せられました。

## 法改正と医療予算の大幅増額を

### ～衆参厚生労働委員へ要請～



応接室でしっかりと話を聞いてくれました

2月4日、「夜勤改善・大幅増員をめざす看護集会」が衆議院第一議員会館で開催され、全国から203名が参加しました。全厚労からも約20名が集まりました。

医療現場の長時間労働や多い夜勤回数、短い勤務間隔などは、医師・看護師・介護職員不足がその根底にあり、安全・安心の医療や介護を困難にさせています。社会保障予算を大幅に削減する安倍政治のもとで、その困難な状況はさらに深刻化しています。集会では、国会

産師の他病院からの助勤制度は12月で終了したが、薬剤師の助勤制度が始まる、北海道から「人事制度の充実に向けての検討（単身赴任手当の増額、人事制度全般の課題解決に向けた協議）、適正な労働時間の管理、地域医療・福祉の充実に向けた今後の事業展開についての明示」、富山から「減額措置のない定期昇給、看護師調整手当を中堅層以降に増額、55歳以降の一時金カット改善、暫定給を基本給に組み入れること」などと発言されました。

# ニュース笑アツ

芝罘 ☆ 友衛



# 「医労連共済」から皆さんへ 新たな“助け合い” “支え合い”を届けます!



## 1 全労連共済の自転車保険を活用します (受け付けは5月中旬まで!)

※東京医労連は東京労働共済会が実施する「自転車保険」、  
大阪医労連は大阪労連共済が実施する「個人賠償責任保険」を利用する。

## 2 床下浸水見舞金の新設 (16年7月1日より実施)

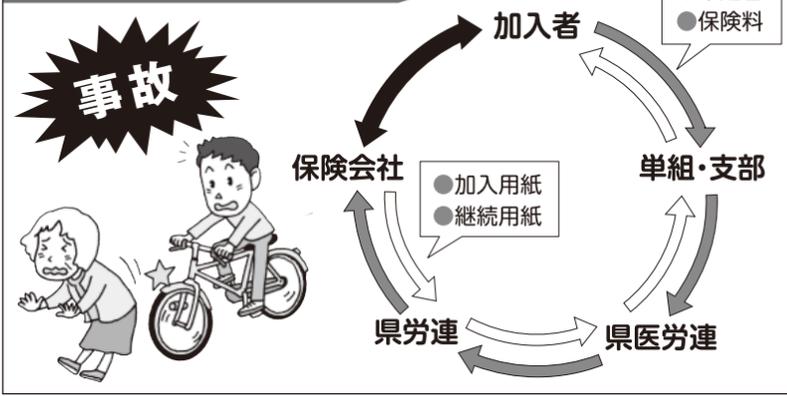
### 医労連共済の“NEW制度”

第47回日本医労連中央委員会(1月20～21日)において、医労連共済事業の共済制度改定・規約改正案が承認されました。内容は、①全労連共済の自転車保険を活用する、②床下浸水見舞金の新設です。

### 自転車保険 受付は5月中旬まで

自転車保険の受付期間は、4月1日から5月中旬までとなります。希望される組合員は、加入申込書・保険料を単組・支部の担当者へ提出をお願いします。県医労連は、各組織の申込書・保険料を集約し、5月中旬までに県労連へ提出する手続きとなります。

### 自転車保険の開始～受付の流れ



2月13日、14日、田沢湖高原温泉プラザホテル山麓荘にて秋厚労青年部主催「ウィンターフェスタ」が開催されました。全厚労・秋田県医労連ふくめ89名が参加し秋厚労青年部史上、最大規模のフェスタとなりました。全厚労からは埼玉、三重、大分、本部から5名参加、秋田県医労連からは5単組12名が参加し、交流の輪を広げました。参加者は夕方までスキ

ー・スノーボードを楽しみ、その後の交流会では初対面の相手とも大いに歓談、またゲームやカラオケなどで盛り上がりました。病院・都道府県の垣根を越え、日ごろの悩みや仕事に対する思いなどを語りつくし、2日目朝には1日目の様子をスライド写真とともに振り返るエンディングフェスタ、全員での記念撮影を行い、参加した青年一同の「団結ガンバリ」で締めくくり

秋厚労青年部・史上最大規模のイベントに  
ウィンターフェスタに89名の青年集まる

ウィンターフェスタでは、青年部お手製の座席カードや名札、当日撮った写真を持ち寄り一晩で制作したスライド映像など、他県から参加や初参加者にも楽しめるような青年部の工夫が見られました。また安否確認・見回りの徹底など「組織的対応」もきちんとしており配慮が伝わりました。秋厚労青年委員長・館岡賢太さんからの「ウィンター

フェスタで大いに語り、職場の不満や悩みから組合への要求をあげていきましよう」という交流会挨拶にあったように、参加者アンケートには「組合で変えてほしいことはありますか?」といった設問があり、しっかりと青年部活動と組合運動を繋げていると感じました。

秋厚労ウィンターフェスタに参加し感じた青年の熱さを、全厚労青年部にも持ち帰って、10月に埼玉で開催予定の青年集会「K's station」を盛り上げていきたいと思えます。  
(教宣部 加藤ふみ)



自転車保険は、毎年の加入手続きが必要となります。補償期間は、7月1日PM4時から翌年の7月1日PM4時までとなります。自転車保険の紹介資料は、2月下旬に加盟組織に配布予定です。現在、2016年度の保険料・補償内容の見直しがおこなわれています。確定してパンフレットが出来次第に医労連共済事務局から配布します。

## ジャーナリスト 北健一の 経済ニュースの裏側

安倍政権は2017年4月、消費税を10%に引き上げようとしている。増税分を社会保障に充てることで、老後・暮らしの安心を支えるというのが、その大義名分だ。

では、私たちの負担は報われるのか。そんな問題意識から、朝日新聞経済部の記者たちが老人介護、社会福祉、医療・年金の現場を歩きスタートしたのが「報われぬ国」という大型連載だった。このほど加筆のうえ、『ルポ老人地獄』(文春新書)として上梓され、早くも話題を呼んでいる。

たとえば小規模サービス事業者が広く行っている「お泊りデイ」。利益は大きい、男女一緒に雑魚寝、相次ぐげがや感染、介護保険の不正請求など、「現代の姥捨て山」の実態はすさまじい。福祉を食うビジネス、過酷な国保料取り立ても暴いた。

政府や大企業に近すぎる記事が目立つ経済面で、「報われぬ国」は異色の連載だった。抗議を受け訴訟にもなり、一部訂正もあったが、果敢な報道によって、抗議は「勲章」ともいえる。

あとがきで松浦新記者は「経済部といっても官庁や企業などのいわゆる記者クラブに所属したことがない記者がほとんどで、私も含めて部内では少しばかりはみ出し者の集団だったかもしれない」と取材班を紹介し、「そのぶん、官庁や企業にまったく縛られず、自由な立場で取材に取り組めた」と連載成立の事情を明かす。

地域の社会福祉協議会の試みに無料低額診療の実践、孤立ゼロをめざす自治体などと並んで、本書が伝える希望は、「少しばかりはみ出し者」の記者たちの取材に、介護や福祉の現場で苦闘する担い手たちが、勇をふるって真実を語るところにもある。

日本福祉大・二木立学長が本書で言うように、介護職員不足の背景には、「地位と給料」の低さがある。制度政策要求という点でも、担い手の「地位と給料(賃金)」の改善という点でも、本書の問題提起は労働組合の課題に通じる。

そしていつの日か、こういう仕事こそ、経済報道の「主流」になってほしい。  
(連合通信より)

# 頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。  
第106回は富山と長野をお願いします。



富山 橋 優人さん

富厚労からは「笑顔がとても爽やかで男前な」橋 優人さんを紹介しします。高岡病院支部では事務員として日々奮闘しており、組合活動においては大役である青年部長を務め「気軽に楽しめ参加しやすいイベント！」を企画・運営し、支部活動を盛り上げ、青年部を引っ張ってくれています。家では、愛犬とゆったりと過ごす時間に癒しを感じる可愛い一面もありますが、男らしいスポーツマンでもあり、野球・ゴルフ・スポーツ観戦など多趣味の持ち主です。なかでも野球では高岡病院支部の野球部に所属し、様々な大会でチームの勝利に貢献しています。そんな橋さんの今後のさらなる活躍を期待しています。



長野 池田拓也さん

長厚労佐久支部から、副執行委員長の池田拓也さんを紹介しします。

支部で青年部長を務めた後、執行委員となり、書記長を担って来ました。業務では、事務職として地域ケアや救急部門を担当していましたが、昨年4月より、労組専従となりました。本人曰く、「大好きな組合活動を好きなだけできる環境におかせてもらい、幸せです」と張り切っています。

当支部の特徴として、文化活動を運動の柱の一つとして位置付けていることがあります。池田さんも例外ではなく、コーラス部に所属し、指揮者としても活躍しています。

これから労働組合運動の中心を担って、ますます活躍されることを期待しています。

当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(12月号の答え：C)

- ヨコのカギ
- スギナの胞子茎
  - 横目でちらっと見る目つき。色目とも言う
  - 紅……白……寒……。
  - 休息。……のひととき
  - 坂田金時の幼名
  - 巨人の……は飛雄馬
  - 竹宮恵子の名作漫画「……へ」
  - グリム兄弟は……作家
  - 思い切って行きます
  - カップルが教会で浴びる……シャワー
  - くもの……。釣り……
  - ジャッキー・チェンの映画に不要の存在
  - 正直は一生の……
  - 事実と反するウワサ話
  - 立ち乗客が使います
  - 郵便。電子……
- 22 20 19 15 14 13 10 9 7 5 4 3 2 1
- 五郎……牛若……
- 魚へんに雪と書いて？
- うの目……の目
- じゅう
- アンの多い……まん
- 虫が地上に出てくるそ
- うです
- 鉄腕アトムの子の名
- をすする日
- チヨコレートのお返し
- 漬け食品
- スクルトウダラの卵の塩
- 十人十……の顔かたち
- 初対面の人に差し出す
- 「益」の反対語
- 近年の結婚式では減少
- 五重奏の楽団
- 木へんに春と書いて？

## ザ★クロスワード

出題●モロズミ勝

1	2		3	4	5
	A				D
6			7		
8		9			10
	11		12	13	
14		15		16	
	F		18	19	
		20			21
23				24	
					E

## 聞かせて・教えて!のコーナー

「聞かせて・教えて!」のコーナーが始まってからもうすぐ1年になります。まだまだ携帯・スマホからの投稿は少ないのですが、3月号までの投稿数による累計ポイントで景品進呈を予定していますので、これからは是非ご活用下さい。

今回の「聞かせて・教えて!」は、「今年4月に入る新人たちに、先輩として伝えたいこと」です。

下記のQRコードを読み取って、投稿サイトにアクセスするか、以下のメールアドレスに空メールを送って下さい。

kikasete@zenkouro.org

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。

なお年齢・職種・連絡先などは、具体的に質問に関連して記載をお願いした場合のみ必須となります。

### ●今回の「聞かせて・教えて!」●

質問1 2月号で一番興味・関心があった記事は?

- A=埼玉2病院譲渡問題
- B=ブロック討論集会
- C=自転車共済制度
- D=秋田青年部ウィンターフェスタ



### 意見・要望

「今年4月に入る新人たちに、先輩として伝えたいこと」

## 投稿締切 投稿・パズルとも3月末まで

## 読者の声

腰痛対策! 介護だけでなく看護にもほしい!うちの病院は配下膳から環境整備、オムツ交換、移乗フロ介助すべてNSの仕事!!みんな腰痛です。(岐阜)

お疲れさまです。看護にも腰痛対策、ひいては大幅増員実現をしたいですね。介護で働く友人も事あるごとに腰痛に苦しめられています。(KT)

常広は毎日寒い日々が続いています。今日も2日連続トイレ(水洗の水が流れずポータブルストープにて開通しました。まだまだ2月一杯までは心配な日々です。(北海道)

関東は先日20度を超える驚異

全厚労二ニュースを見ると全国の仲間の様子や取り組み、世の中や医療界の流れが分かりやすく紹介されていて、毎月かかさず読んでいます。(新潟)

毎回の講読ありがとうございます。様々な情報のなかで自分たちに有益な内容があれば是非ともご活用いただければと思います。(OH)

「患者さまがきもち良くなる看護」私達スタッフもきもち良い職場!患者さまと私達が過ごしやすい、笑顔と「ありがとう」が広がるよう手当の看護をしていきたいと思ひます。笑顔の輪を手から手

へ:伝えていきましよう。(秋田)

患者さまがきもち良くなる:「こめんなさい」より「ありがとう」があふれる職場がいいですよ。(YN)

働き続けられる職場へ:を讀んで、昨年から7:1看護基準を取得するため、せつかくとれてきた誕生日有休がとれなくなつた。また有休消化のため1週間の休みがあつたが、それも全く取れなくなつた。記事にあつたように多様な対策が求められると思ひました。(秋田)

みんなでアイデアを出し合つて、多様な対策が求められます。他方、組合としても7対1で人が足りていない実態を的確にとらえる為、届出事務書類の様式9を確認することも必要ですね。もしかし

勤務交代になつてから「二ニュース」を読むことがめつさり減りました。昨年思ひもかけない病を得(?)て病人体験をいたしました。皆保険制度についてあらためてあつてよかつたと思ひました。いつも思ふのですが若い世代がこの紙面や医労連二ニュースを讀んでいません。内容を伝えていますが、紙面の工夫も必要では。(北海道)

耳が痛いです。若いメンバーも入れて話し合つてますが、もっと読者からの声欲しいです。(MT)

【問題】A~Fを並べてできる言葉は?